

全国



第 2265 号

ぜんこくしぎかいじゅんぱう

市議会旬報

令和6年 5月25日  
(2024年)

毎月3回5の日に発行  
発行 全国市議会議長会

〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-4-2  
代表 TEL 03 (3262) 5234  
旬報 TEL 03 (3262) 5237  
発行人 橋本 嘉一  
https://www.si-gichokai.jp



議長会HP

第236回  
理事 事 会

# 第100回定期総会の運営を了承

令和7年度「都市問題に関する特別委員会」研究テーマ決まる



理事会で開会あいさつをする坊会長

理事会では、事務局から厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書の提出状況について3月29日現在、815市区中42市区議会で意見書が可決され、採択率が51・8%になったことを報告した。坊会長は理事会の席上、地方議会議員のなり手不足や無投票当選の増加など地方議会を取り巻く状況は深刻で、民主主義の根

## 坊会長 「地方から多くの声を」

### 厚生年金への地方議員の加入

幹である選挙が行われなことは非常に危機的な状況との懸念を表明した。その上で、このような状況を打開するためには、就業者の9割を占める会社員等からの立候補を促すことが重要で、会社員から議員に転身しても厚生年金が途切れることなく、社会保障の一環として地方議員も厚生年金の適用を受けられる環境を整備することが我々の責務との考えを示した。続けて坊会長は、本年は5年に一度の公的年金制度の財政検証が実施され、検証結果がその後の年金制度改革に繋がる重要な年との認識を示し、そのためにも地方からできる限り多くの声を上げることが重要と訴え、副会長をはじめ部会長、理事及び相談役において、各都道府県での同趣旨の意見書採択の促進について協力を求めた。

### 役員補欠選任

- 【副会長】 松野久郎 (白石市議長)
- 【副会長】 須永宣延 (熊谷市議長)
- 【副会長】 竹山 聡 (一宮市議長)
- 【副会長】 垣内廣明 (丹波市議長)
- 【副会長】 平田文彦 (高知市議長)
- 【副会長】 田口裕士 (岡山市議長)
- 【監事】
- 【中国部会】

催される第100回定期総会の運営、会長提出議案等について協議した。会長提出議案は、①多様な人材の市議会への参画促進に関する決議②地方創生・地方分権の推進に関する決議③下請けいじめの根絶を求める決議④頻発・激甚化する大規模災害等からの防災・減災対策及び復旧・復興対策等に関する決議⑤令和6年能登半島地震から

の復旧・復興に関する決議⑥東日本大震災からの復旧・復興に関する決議と市議会議員及び市議会事務局職員に対する研修の重要性に鑑み、会則の本案事業に同研修事業を加える会則の一部改正案で、いずれも了承された。このほか、令和7年度の「都市問題に関する特別委員会」の調査研究テーマを「大規模地震に備えた防災まちづくりの推進」とすることを決めた。

自治体  
病院協

定期総会

経営基盤安定化  
医師確保・偏在解消

決議を決定

全国自治体病院経営都市議会協議会（会長 山田典幸・名寄市議会議長）は 5 月 14 日、東京・都市センターホテルで第 52 回定期総会を開催。令和 6 年度の事業計画、予算を決定するとともに、自治体病院の経営基盤安定や医師確保・偏在解消などを求める決議を採択。また、任期満了に伴う役員改選を行い、新会長に高誠金沢市議会議長を選任した。



山田病院協会  
会長  
(名寄市)



吉和監事  
(尾道市)

和宏監事（尾道市議会議長）から監査報告があり、認定。続いて、令和 6 年度事業計画、予算について決定した。



森自治体病院議連  
会長（衆議院議員）

山田会長はあいさつで、1 月に発生した能登半島地震の被災地の一刻も早い復興・復旧を祈念するとともに、「本格的な人口減少・超高齢社会においても、地域が自治体病院に求める良質な医療を継続的に提供できるよう、引き続き精力的に要望を引き続き精力的に要望活



濱地厚生労働副大臣（中央）に要望



高病院協新会長  
(金沢市)



小松役員選考委員長  
(男鹿市)

役員改選では、小松穂積役員選考委員長（男鹿市議会議長）から正副会長・監事・理事候補の選考結果の報告があり、新会長に高誠金沢市議会議長を選任。他の役員についても全会一致で選任した。新会長に就任した高会

役員改選  
新会長に高金沢市議長

役員改選では、小松穂積役員選考委員長（男鹿市議会議長）から正副会長・監事・理事候補の選考結果の報告があり、新会長に高誠金沢市議会議長を選任。他の役員についても全会一致で選任した。新会長に就任した高会

阪市、田辺市、出雲市（会長職務代理）、徳島市、串間市  
▽監事 京都府、多久市  
決議を決定、要望活動  
役員改選後、山田相談役が総会決議の提案を行い、これを決定。

【新役員一覧（理事除く）】  
▽会長 高誠金沢市  
▽副会長 山田典幸金沢市、石巻市、長野市、越谷市、松

総会終了後、新会長は濱地雅一厚生労働副大臣を訪ね、決議を手交の上、要望を行った。

また、翌週の 21 日、高会長と板垣副会長は自治体病院議員連盟総会に出席し、森会長ら役員へ決議を手交の上、要望を行った（3 面左に写真掲載）。

- 決議（令和 6 年 5 月 14 日決定）
- 一、地域医療の中核を担う自治体病院の経営基盤安定のため、特に小児医療、救急医療、精神科医療、へき地医療、高度医療、周産期医療など政策医療や不採算医療に対する財政措置を更に拡充すること。
  - 一、医師の地域偏在・診療科偏在を解消するため、医師不足地域での一定期間勤務の義務付けや、診療科ごとの必要専門医数の養成と地域への配置など、地域の医療ニーズに対応した支援体制を早急に確立すること。
  - 一、女性医師・女性看護職員が仕事と出産・育児を両立できるように、院内保育所・病児保育を体制化し、復職支援の職場環境の整備促進を支援すること。
  - 一、医療従事者の負担軽減及び働き方改革に対応するため、医師事務作業補助者や看護補助者等の人員確保、業務効率化に向けた ICT 導入等に必要経費に対する財政支援措置を拡充すること。
  - 一、医療の地域偏在を解消するため、先端技術を活用したオンライン診療等遠隔医療環境の一層の整備促進を図ること。
  - 一、救急医療体制の改善のため、医療機関の適切な受診を広く国民に啓発するとともに、各地域で行っている救急医療電話相談等の普及・周知を図ること。
  - 一、地域医療構想の取組推進に当たっては、個々の病院及び地域の事情を十分に踏まえるとともに、持続可能な地域医療提供体制の実現に向け支援すること。
  - 一、大規模な自然災害が頻発する我が国における医療提供体制を確保するため、医療機関の地震災害・風水害・雪害対策等への支援を充実強化すること。





深川市役所新庁舎  
(写真提供=深川市)



議場  
(写真提供=深川市)

**新庁舎落成**  
▽深川市(北海道)  
〒074-8650  
深川市 2-17-17  
電話番号・ファクス番号  
は変更なし  
議場の内装には市内産のシラカバなどの木材が使用されているほか、傍聴席には車いすスペースや親子傍聴室が新たに設けられている。



根室市役所新庁舎  
(写真提供=根室市)



議場  
(写真提供=根室市)

▽根室市(北海道)  
〒087-8711  
根室市常盤町 2-27  
電話番号・ファクス番号  
は変更なし  
内装には道産木材が使用され、暖かみのある空間となっているほか、机は可動式、床はフラット構造で、多目的な利用が可能となっている。また、傍聴席には車いす席が整備されている。



鳴門市役所新庁舎  
(写真提供=鳴門市)



議場  
(写真提供=鳴門市)

▽鳴門市(徳島県)  
〒772-8501  
鳴門市撫養町南浜字東浜 170  
電話番号・ファクス番号  
は変更なし  
木材を使用した内装により暖かみのある空間を目指しているほか、傍聴席には車いすスペースや難聴支援設備が整備されたバリアフリーに配慮した構造となっている。

第56回『都市問題』  
公開講座

公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所  
The Tokyo Institute for Municipal Research



「景観まちづくり」の過去・現在・未来

北海道から沖縄まで日本各地には魅力的な景観があふれている。それぞれの地域では、住民の努力、行政による規制や誘導、民間企業の協力など、公・共・私がさまざまな役割を担いながら、その土地ならではの景観を守り、育てている。景観は生活者の身近に存在し、それを継承していくことは、地域への愛着にもつながる。

2024年は景観法制定から20年で、景観まちづくりの大きな節目の年でもあるが、この20年間で、日本は人口減少社会に突入し、魅力的な景観を育ててきた地域を取り巻く状況も大きく変化している。

景観まちづくりの現状を住民・行政・民間企業の役割に着目しながら整理するとともに、生活者にとって魅力的な景観まちづくりのあり方について考えたい。

日程・会場

日 程 令和 6 年 7 月 20 日 (土)  
13:00 ~ 16:00 (開場12:30)  
場 所 日本プレスセンター 10階ホール  
〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-1  
参加費 無 料

申込要領

参加申込 後藤・安田記念東京都市研究所  
ホームページより   
申込期限 令和 6 年 7 月 18 日 (木)  
※満席となりしだい受付を終了します。

出演者

基調講演

八王子市 拠点整備部 市街地整備課	赤羽 祐哉氏
京町家再生研究会 理事	小島 富佐江氏
株式会社 上條・福島都市設計事務所 共同主宰	福島 秀哉氏

パネルディスカッション

【司会】  
國學院大学 観光まちづくり学部長 西村 幸夫氏  
【パネリスト】  
赤羽 祐哉氏 / 小島 富佐江氏 / 福島 秀哉氏

お問合せ先

公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所  
〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-3 市政会館 5階 TEL: 03-3591-1201 FAX: 03-3591-1209  
<https://www.timr.or.jp/>